



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

擁壁を つくりました

地元の声

・雨が降ったりすると、急に裏山が崩れてこないか心配です。（地元住民）

事業前

◆斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

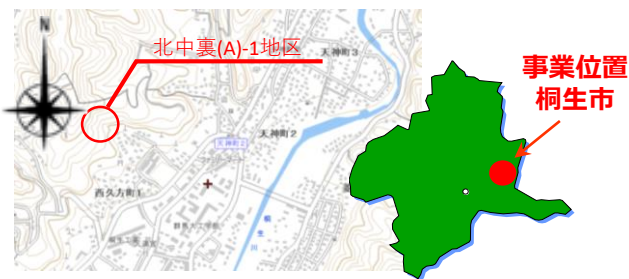
◆擁壁により、落石や崩落した土砂を受け止め、がけ崩れによる被害を軽減しました。



事業後の状況

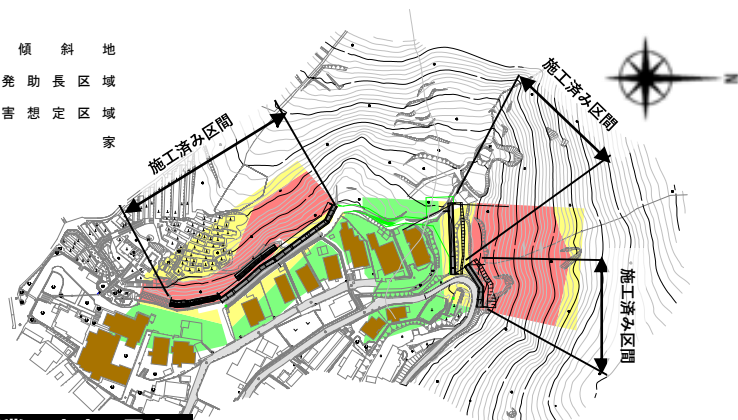
事業の概要

- 事業箇所：桐生市西久方一丁目
- 事業内容：擁壁工 延長127m・かご枠工
- 事業期間：平成29年度～令和5年度



事業の進捗状況（令和5年度完了）

- 急傾斜地
- 誘発助長区域
- 被害想定区域
- 人 家



今、何をしているか

令和5年度に本事業は完了しました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了